

区政会議でいただいたご意見への対応方針

番号	年月	区政会議委員意見	対応方針	分類
令和4年度第1回区政会議（令和4年8月29日開催）				
1	R4.8	【子育て・教育】 主任児童委員をしており、地域を回り訪問しながら様々なサポートを行っているが、われわれには区からの情報が降りてこない。（大野委員・石野委員・児玉委員）	主任児童委員には、児童福祉関係機関と区域を担当する民生委員児童委員との連絡・調整のほか、児童及び児童を取り巻く家庭環境・社会環境についての情報収集、地域における児童健全育成活動や母子保健活動の推進など児童及び妊産婦等に対して必要な援助・協力を担っていただいています。円滑な活動をしていただくためには、日頃から地域の方々の状況を適切に把握していただくことが重要であることから、必要に応じて支援を要する子どもの情報を提供してまいります。	⑤
2	R4.8	【教育】 ヤングケアラーの子どもたちは何人いるのか。（児玉委員）	区ごとのヤングケアラー数については公表されていませんが、大阪市立中学校128校の1年生から3年生の生徒を対象とした実態調査（令和4年7月公表）では有効回答数のうち『ケアを「している」と回答した者すべてをヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は約9.1%であった』という結果が示されています。	⑤
3	R4.8	【子育て・教育】 福祉施策について対面でケアをしようとする人海戦術をしない。もっと民生委員児童委員や主任児童委員に情報を伝え対応していく必要があるのではないか。また、支援を必要とする人々の中には「忙しすぎてもういい」と支援を求めない人もいるが、何回も家庭訪問をしてようやく支援を受け始める人もいると思う。そういうことから地域での見守りも必要ではないか。（岡崎委員）	民生委員児童委員、主任児童委員制度の理解が進むことが重要であり、機会を捉えて周知していく必要があると考えます。従前、ホームページなどで周知を図ってきましたが、活動状況を具体的にお知らせすることで一層理解が深まるものと考えます。今後、その活動状況を重点的にお知らせできるよう広報紙で特集記事を作成することを検討しています。	②
4	R4.8	【子育て・教育】 地域でイベントをしているが、そういうところに支援を必要としている家庭・子どもが来てもらうのも大事かと思う。（平田委員・飛田委員）	支援を必要としているご家庭や子どもが地域とつながるきっかけとして、各種のイベントに参加していただくことは、大きな意味があるものと考えます。広報紙への情報掲載をはじめとし、子育て情報アプリによる情報配信など各種の広報媒体を用いて様々なイベントに参加いただけるよう今後も積極的に広報してまいります。	⑤
5	R4.8	【見守り事業の認知度】 ・広報紙を利用すればいいが、天王寺区は新聞折り込みが必要な方は個別に送ってもらっているというやり方をしている。新聞を取っている人は少なくなり、必要な人に渡っていない。他区では、全戸配付をしているところもあるので検討してみたい。 ・回覧板で回せば、各家庭に行きわたると思う。（余部委員）	見守り事業の周知については、区広報紙だけではなく、区や区社会福祉協議会ホームページ、地域の広報板、図書館等の区内公共機関、駅などに見守り相談室のポスターを掲示しております。今後とも、より効果的な周知方法についてご意見を伺いながら検討してまいります。 区広報紙については天王寺サービスカウンター、天王寺区民センター、クレオ大阪中央など区内関連施設のほか、駅、スーパーなど一部の区内民間施設にも配架協力いただいておりますが、今後、広報紙の配付方法のあり方については、ご意見にあるような全戸配付も含めて、より効果的にお届けできるよう検討してまいります。	②
6	R4.8	【見守り事業の認知度】 マンションにお住まいの高齢者、マンションに高齢者とお住まいの家族への周知強化を。（藤井委員・余部委員・藤井委員）	マンションへの見守り事業の周知につきましては、区から委託しています天王寺区社会福祉協議会「見守り相談室」が、区内のマンションを順次訪問しポスター掲示やチラシ配架を依頼しており、また支援を必要とする高齢者等を見つけた場合は、連絡や相談を頂きますよう合わせてお願いしております。今後ともマンションへの周知活動を継続、強化してまいります。	①
7	R4.8	【見守り】 1人が民生委員や町会、社協など色々な役を引き受けており、業務が重なっているように思われるが、業務や役割を一本化出来ないか。（飯田委員）	民生委員や町会など地域で活動される方は、それぞれの趣旨目的を持った団体において活動しています。団体ごとに類似の活動もあり、また、ひとりで複数の活動をされている方もおられることから、わかりづらい部分もあると思いますので、団体ごとの業務や役割について、わかりやすい説明や広報を検討してまいります。	④
8	R4.8	【見守り】 「見守りサポーター事業」と「見守りネットワーク強化事業」はネーミングがバラバラなので、統一した名称にして、「独居高齢者」「要援護者」とすれば良いのでは。（藤井委員） ・高齢者、障がい者でまとめてみてはどうか。（安田委員）	「独居高齢者等見守りサポーター事業」は天王寺区の独自事業で、「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」は大阪市全体で実施している別事業のため、名称の一本化は難しいのですが、今後わかりやすい説明や表現等を検討してまいります。	③

9	R4.8	<p>【見守り】 平成25年3月に廃止となった“保健・医療・福祉ネットワーク推進員制度”は良かった。あのような制度があれば良いと思うが、人材の確保がネックのように思う。(植田委員)</p>	<p>地域の身近な場所に相談窓口があることは、住民の皆さまにとって気軽に相談できることや、要支援者の早期発見、地域の見守り活動の強化やつながりづくりに有効と考えます。一方で相談員の確保などの課題もあるため、今後も地域の方々のご意見をお聞きしながら、見守り体制の充実に向けて検討を進めてまいります。</p>	③
10	R4.8	<p>【見守り】 75歳になると区社協「見守り相談室」より、地域のボランティアからの定期的な見守りを希望するかの確認の手紙が届く。その時は元気なので不要と回答したけれども、一度断ったあとに「やっぱり来てほしい」と思われている人も結構います。その方への支援をお願いしたい。(白井委員)</p>	<p>「独居高齢者等見守りサポーター事業」と「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」ともに、当初同意されなかった方が後日見守りを希望された場合、「見守り相談室」にご連絡いただきましたら、随時登録の手続きを行い見守り支援を開始しており、その旨、広報紙、区ホームページ等でも周知しております。また「独居高齢者等見守りサポーター事業」につきましては、80歳を迎えられた時点で再度、同意確認の手紙をお送りしています。</p>	①
11	R4.8	<p>【がん検診】 働いている人は休みが取りにくいし、“まだ大丈夫”と思われている人が多いので、受診率があまり上がらないのだと思います。そういった方々へ受けてもらえる工夫を。(安田委員)</p>	<p>がん検診受診への周知について、区広報紙やポスター等の作成時に対象者・負担額について、より丁寧な案内を行います。また、区保健福祉センターでは、土日及び平日夜間に検診を実施し、受診機会の確保にも努めます。</p>	①
12	R4.8	<p>【防災】 地域避難行動要支援者「支援プラン」には既往歴・普段飲んでいる薬を書いてもらえるようにすればどうか(栗谷委員)</p>	<p>支援プランには「特記事項」の欄があり、避難・避難生活で留意すること等を記載することとしているので、その欄に既往歴・薬を書いていただくこととなります。</p>	①
13	R4.8	<p>【防災】 ・世代が違いすぎると支援者としてコミュニケーションの機会がないこともある。元気な70歳代が、80～90代を支援する形も考えてもよいのでは。(栗谷委員) ・活動の担い手が高齢化しており、若い人に支援者になってほしい。(佐野委員) ・支援者になるのは若い人の義務である、という打ち出し方もよいのでは。(泰地委員)</p>	<p>要支援者の支援においては、ご近所の方がいざという時に支援いただくことが望ましいと考えており、そのためには日頃からのご近所でのつながりが重要と考えております。また学校での防災出前講座の機会には、いざという時には若い人が高齢者を助けることが必要になることも引き続き伝えていきたいと考えています。今後とも様々な機会に支援者の確保や地域でのつながりづくりについて働きかけを行い、つながりあい、支え合い、助け合うまちをめざしてまいります。</p>	①
14	R4.8	<p>【防災】 ・災害が少ない土地柄ということもあり、危機感のある人が少ない印象。(栗谷委員) ・9月は敬老の日もあるので、高齢者にフォーカスした災害訓練があってもよい。(栗谷委員)</p>	<p>南海トラフ地震が今後40年以内に90%の確率で発生すると言われており、災害に備える必要性は今後も様々な機会に伝えてまいります。地域で実施する避難所開設・運営訓練において、高齢者など避難行動に支援が必要な方の避難方法について考えるプログラムも含めて行えるよう提案してまいります。</p>	②
15	R4.8	<p>【防災】 ・ワンルームタイプのマンションには若い人だけでなく独居の老人も多い。独居で町会にも入らないと、地域とつながりがなく、支援の網からまれやすい。(佐藤委員) ・賃貸マンションは特につなかりがうすく、要支援者の把握はより難しい。(佐野委員)</p>	<p>天王寺区にお住まいの75歳以上で介護サービス等を受けていない独居、または高齢者のみの世帯で、見守りを希望(同意)された方を対象に、「独居高齢者等見守りサポーター事業」を実施しています。また、要介護3以上等支援が必要な方(要援護者)で見守りを希望(同意)された方を対象に「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」を実施しています。また、マンションでの防災出前講座は、主に50世帯以上の分譲マンションを把握して呼びかけを行っておりますが、ワンルームタイプのマンションや賃貸マンションからご依頼がありましたら、訪問して防災を通じた共助の大切さなどについてもお伝えしてまいります。</p>	①
16	R4.8	<p>【防災】 介護が必要な人の情報を集めておくのもいいのでは。例えば介護事業者と連携するとより必要な支援について具体的な情報を持っていると思われる。(泰地委員)</p>	<p>大阪市では、災害対策基本法に基づき、大地震や風水害などの災害が起きた時、自力で避難することが難しく、支援が必要な方の氏名・住所・生年月日、障がいの内容や要介護度など支援に必要な情報を避難行動要支援者名簿として作成し把握しています。支援プランの作成にあたっては、要支援者が介護事業者と関わりがある場合には、その状況も把握して取り組んでいくことが重要と考えています。</p>	①
17	R4.8	<p>【防災】 地域の中で普段から関係性ができていることが大切。地域性によるものなので、文章で一律にできるものではない。つながりがあれば防災・防犯の面で救われること、助かることも多いのでは。(櫻井委員)</p>	<p>地域の防災・防犯の取り組みを推進するためには、日頃のご近所どうしのつながりは必要不可欠と考えています。今後とも地域の皆さまのご協力をいただきながら、地域でのコミュニティづくり、つながりづくりに力を入れてまいります。</p>	①

18	R4.8	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体について、紙ベースの良さはある。デジタル社会ではあるが、web等で情報をとれない高齢者などに対しては重要である。(家田委員) ・回覧板の内容の充実が必要。周遊マップなどを広めたいのであれば利用も考えるべき。(三輪委員) ・デジタルと紙の良いところがあるので、両方の充実が必要。(舒委員) ・町会に入っている人が少なくなってきたが、ネットだけでも周知は難しい。大事なことでお伝えしたいことは、紙ベースでの情報発信が重要。(橋本委員) 	<p>様々なデジタルコンテンツのみならず、広報紙「天王寺」や「上町台地周遊マップ」等、紙ベースの広報媒体も積極的に活用し、デジタルと紙ベースの両輪で区の魅力発信に努めてまいります。「上町台地周遊マップ」についてはまちあるきなどに活用していただける内容なので、イベント時に配布するのみならず、より多くの方が手に取っていただけるよう、配架場所についても工夫してまいります。</p> <p>なお、広報紙については、今後、配付方法のあり方について、ご意見にあるような全戸配付も含めて、より効果的にお届けできるよう検討してまいります。</p>	②
19	R4.8	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と商店会との共同での発信が必要。行政単体より地元と一緒にすることが重要。 ・効果的な発信を天王寺区だけで進める必要はないのではないか。4・5区で考えてもいいのではないかと。(三輪委員) 	<p>地域団体と連携した取組みとして、商店会と連携した「ふれあい落語会」のほか、まち歩きイベントなどを行ってきました。今後も商店会をはじめ地域団体と連携して区の魅力を発信するための取組みを積極的に進めてまいります。</p> <p>周辺区と連携した取組みとして、中央区役所等と連携した「熊野街道ウォーク」などのまち歩きイベントを行ってきました。今後も区をまたがる台地や街道等をテーマに講演会・まちあるきを企画する際に、周辺区と共同で開催することを検討するなど、魅力発信の取組みを積極的に進めてまいります。</p>	①
20	R4.8	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に行政からに限らず、観光協会などからでもいいので、web等による発信が効果的だと思う。web専門の人が携わっての発信と頻繁な更新が必要である。 ・1、2分のものでいいから、一つの面白い店や裏通りを紹介するなどの企画はどうか。(舒委員) ・ツイッターの発信が弱い。何を発信するのか、天王寺区の目標を決めるべきである。(立川委員) 	<p>区ホームページやTwitterなどのSNSについては、多くの方に手軽に素早く情報をお伝えするツールと認識しており、積極的な更新による情報発信を進めてまいります。</p> <p>発信する内容については、より区民の皆さんに親しみを持ってもらうとともに、広く区外の方にも魅力が伝わるものとなるよう、引き続き検討してまいります。</p>	①
21	R4.8	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の皆さんにも魅力を知ってもらいたい。民間との連携なども考える必要がある。(橋本委員) ・四天王寺などの寺社との連携も考えては。四天王寺ができたころから考えると、天王寺は1500年ほどの歴史がある。例えば、「1500年の都 天王寺」といったキャッチフレーズをうつつのほうか。(立川委員) 	<p>区内にはさまざまな魅力あふれるスポットがあり、区民の皆様も含めて広く知っていただけるよう、地域団体の皆さんなどと連携してさらなる情報発信に努めてまいります。なお、四天王寺につきましては、既に「てんのうじジュニアクラブ」や「聖徳太子ウォーク」などの事業において連携していますが、引き続き四天王寺のみならず地域の寺社などと連携して魅力発信の取組みを進めてまいります。</p> <p>事業を進めるにあたり、事業のイメージが伝わり、内容がより具体的にわかりやすくなるよう、周知広報の工夫を進めてまいります。</p>	①
22	R4.8	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での発信にもっと力を入れるべき。 ・高校がたくさん天王寺区内にある。高校生に周遊マップなどを配布するのも検討してはどうか。(立川委員) 	<p>外国語による情報発信については、自動翻訳技術の進展などの状況もふまえて、必要に応じて取組みを検討してまいります。</p> <p>高校生については、大半がスマートフォンを所持し使いこなす「デジタル・ネイティブ世代」であることをふまえて、在学の地である天王寺の魅力が伝わるよう、効果的な手法を検討してまいります。なお「上町台地周遊マップ」については区ホームページからも見ることができますので、この点について今後積極的に広報に取り組んでまいります。</p>	①

※分類

- ①当年度(4年度)において対応 ②5年度運営方針に反映または5年度に対応予定
 ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他